

ミカンコミバエの調査と防除について

	方法	内 容	
調 査	トラップ調査	◎ 侵入範囲を確認することが目的 ・ 雄成虫のみを誘引する剤を染み込ませた約3cmの綿棒をトラップの中に設置して、誘殺を確認 ※ 雌成虫は誘引されない	 トラップの設置状況
	寄主果実調査	◎ 繁殖の有無を確認することが目的 ・ 採取した果実を5日間保管後、切開して幼虫や蛹の有無を確認 ※特に、カキ、カンキツ類、グアバ、パパイヤ等の熟果に産卵しやすい	 果実に寄生した幼虫
防 除	(テックス板) 誘殺板	◎ 雄成虫のみを防除し、交尾の機会をなくすことが目的 ・ ラワン材等に雄成虫のみを誘引する剤と殺虫剤を染み込ませた板で、雄成虫を防除 ※ 樹木等に吊り下げる	 テックス板の設置状況
	ベイト剤散布	◎ 雌雄成虫を防除することが目的 ・ 道路沿いや集落内などの雑草や木の幹や葉の裏などに事前に散布し、餌を食べさせることにより防除 ※ ベイト剤はタンパク加水分解物と殺虫剤を混合した毒餌剤で、誘引剤がない雌成虫の防除ができる唯一の方法	 ベイト剤散布状況
	寄主果実除去	◎ 幼虫の駆除や繁殖源の除去をすることが目的 ・ 木になっている果実や落下果実をビニール袋に入れて、ゴミとして処分	 ゴミとして処分